

駒澤書翰



第2号

発行日：
2023年2月19日
発行所：
株式会社エヌワイケー
〒154-0012
東京都世田谷区駒沢5-7-6
電話：
03-3704-8391
FAX：
03-3703-7121
発行人：
横山和俊

販売店よりお知らせ

新聞整理袋の有料化について

経済産業省のシジ袋有料化の指導により新聞整理袋は有料となります。50枚入りのシジ袋550円にて販売しています。なお読み終えた古新聞の回収処分も行っております。ご希望ございましたら弊社までご連絡ください。

購読料のお支払い方法について

新型コロナウイルス感染症拡大防止並びに防犯の観点から、対面での購読料のお支払いは受付していません。現在対面にて購読料をお支払いいただいているお客様は以下の方法へ変更をお願いします。クレジットカード決済・口座振替・コンビニエンスストアでの払込。なお詳細は今月の「集金」にて説明いたします。

挨拶

立春の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は弊社取扱い各紙をご愛読いただき誠にありがとうございますと申し上げます。2月1日より業務を前任より引き継ぎました所長の横山です。配達担当者も順次変わってまいります。配達不備ないよう万全を期して引き継ぎして行く予定ですが、配達時間、投函方法等不具合ありましたら遠慮なくご連絡ください。

所長のひとし言 —ニューチャーデザイン(ED)—

お世話になります、所長の横山です。「所長のひとし言」のコーナーでは、私が日々新聞を読む中で気になった記事を紹介していきます。新聞は一覧性に優れた媒体ですが、たまには読み飛ばしをしてしまうことがあります。「そんな記事があったんだ」と、日々の閲覧の一助になれば幸いです。

1月から始まっている通常国会。23年度予算案は審議中ですが、一般会計が初めて110兆円を超える見込みです。新規国債は35兆円の発行予定で、成立すれば普通国債の年度末残高は1068兆円に達することです。日本に限らず先進各国では、新型コロナウイルス禍を契機に財政支出の拡大が続いています。コロナ対応の緊急支出は一巡した感はありますが、高齢化の進展に伴う社会保障支出の増加、防衛費の増大、エネルギー価格抑制の為の財政補助、デジタルとグリーンのトランスフォーメーション推進など世界は構造的ともいえる支出拡大が続いています。2月8日付日経新聞「大機小機」では小さな政府の時代が終わり、大きな政府へと向かう時代がはじまったとして「大きな政府をどう賄うのか」との見出しで、先進各国の中でも特に厳しい財政状況にある日本の現状に警鐘を鳴らします。以下、「コラムを紹介します。

財政支出の拡大によるインフレが高進している。政府の長期債務がそのまま増加すれば、今後、財政の持続性が問われることになる。もはや規模と財源を個々に議論するだけでは不十分だ。財政支出全体を俯瞰し、国民負担のあり方や財政の持続性の確保についての議論が必要だ。例えば、「異次元の少子化対策」についていえば、規模だけでなく、効果こそ異次元でなければならぬ。まず児童手当の増額という結論ありきではなく、非正規労働者などへの支援や働き方改革など、どのような施策を組み合わせるのか、社会保障全体にどう位置づけるのかといった検討も必要だ。財源についても、社会保障の中身を見直すのか、増税か、国

債発行か、歳出構造や行政の改革か、他の支出増の財源も含め提示すべきである。つまみ食い的な施策と手先の財源捻出、なし崩しの負担増では、国民の将来への期待は低下したままだ。つまり、これでは少子化対策の効果も上がらない。

日経新聞コラム「大機小機」は学者、大学教授、記者が思い思いのペンネームでタイムリーな話題を論じます。私も大好きなコラムの一つで、一面の「春秋」が表の顔なら、「大機小機」は裏の顔といったところでしょうか。しかし、財政支出拡大は切実な問題です。近視的な政策に将来世代の負担を顧みず国債を乱発し負債を積み重ねる。3人の子を持つ私としては、この手の記事を読むと、どうにかならないものかというも思っています。2月6日付日経新聞マイピュアポーア面「まだ見ぬ世代も輝くために」の記事に明るい兆しを感じました。地球温暖化、天然資源の枯渇、過剰な社会保障による債務返済の先送り。こうした課題に共通するのが、現役世代が将来世代から利益を奪う構図です。ただこれらをテーマに議論すると「若者VS高齢者」のような論点に傾きがちです。そこで最近では「未来人」の視点で物事を考える「フューチャーデザイン(FD)」が各地で広がり始めています。以下、記事を紹介します。

FDは2012年、まだ見ぬ世代先の子孫の利益を考えて物事を決めたと伝わるアメリカ先住民のインディ諸族に着想を得て、高知工科大学の西條辰義特任教授ら学識者が中心となり提唱した。将来世代は様々な課題の最大のステークホルダー(利害関係者)でありながら、現状の民主主義の仕組みでは主張する機会すらなく利益が軽視されがちだ。FDでは、現代人が未来人を演じ、彼らの主張や利益を代弁する。FDに対し「絵空事」や「理想論」だといった批判的な意見もあるのは事実だ。少子化が進み、高齢者向けの政策を優先するシルバー民主主義が指摘されている。どの世代も将来への不安を抱える中、まだ見ぬ世代のために自らの利益を手放す選択を取り入れる人や組織はごく一部だ。しかし、先行している例もある。人口2万7千人弱の岩手県矢巾町は18年に高橋昌造町長が「FDタウン」を宣言。19年には専門部署の「未来戦略室」を新設しFDの手法を全庁的に広げた。きっかけは水道事業の見直し議論。FD手法を取り入れ住民が議論を重ねた結果、未来を案じ、水道の質を維持するために水道料金の値上げを受け入れた。国外に目を向ければ、英国・ウエールズでは15年に「未来世代法」が整備され、公的機関の意思決定の際には将来世代の利益を考慮に入れることがルール化された。たとえ今の自分の不利益につながっても、将来世代が少しベターになる選択を選ぶ。人々の善意を喚起する仕組みづくりが各地で動き出している。その先にこそ社会の持続の可能性が広がる。

編集後記

最後までお付き合いありがとうございます。まだまだ寒い日が続いています。しかし、一日も早く駒沢の空気に馴染もうと、まずはお店の裏手にある「駒沢オリンピック公園」を歩いて回りました。実は私、去年2回ほど駒沢オリンピック公園に来ていたのです。次女がバスケットボールをやっている試合会場がこちらだったのです。その試合に思いをはせながら公園を歩いていると、梅の花が咲いているのを見つけました。もう春はそこまできているのですね。駒沢オリンピック公園といえば、併設されているドックランも有名です。大好きな私としては寄りたくないわけにはいきません。居ます、居ます、可愛いワンちゃんがいっぱい居ます。犬種も多々、中には写真でしか見たことのない犬種も。皆様は大派ですか？猫派ですか？私は大派です。3年前から横山家でも犬を飼い始めました。もっと早くから飼っておけばよかったと後悔するほど可愛くてしかたありません。今では私の帰宅を喜んでくれる家族は大だけです。私が帰宅すると、部屋中を全力で駆け回り私に何回も飛びかかって喜びを表現してくれます。一通りその儀式が終わるとソファに座り私を見ます。私にソファに座るよう催促しているのです。そして私がソファに座ると膝の上に乗って甘えてくるのです。なんと愛おしいことでしょう。犬って癒しの存在ですよ。当然といえば当然なのですが、この帰宅時の儀式、私だけでなく家族みんなにやっています。みんなに愛される我が家のミニチュアシュナウザーです。